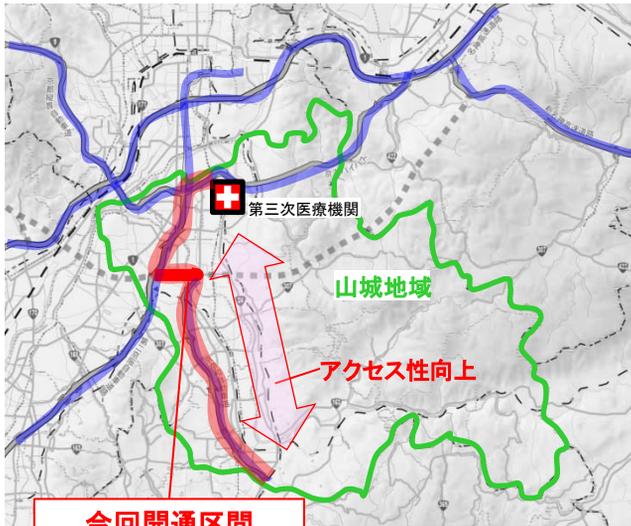


整備効果⑤ 救急・災害医療活動への貢献

- ・城陽～八幡京田辺間の開通により、山城地域における唯一の**第三次医療機関へのアクセス性が向上**し、高速道路走行による**患者への負担軽減につながります**。
- ・大規模災害時における災害拠点病院や災害派遣医療チーム(DMAT)の**機動性向上や連携強化が期待され、災害医療活動の信頼性が高まります**。

【第三次医療機関までのアクセス性の向上】



今回開通区間
(城陽～八幡京田辺間)

※山城地域南部から、山城地域唯一の第三次医療機関までのアクセスが、最大約10分短縮される。

※ 第三次救急医療機関とは

脳卒中、心筋こうそく、頭部外傷などの重篤患者へ対応するため、高度の診療機能を備え、24時間受け入れ体制可能な医療機関。

救急搬送において、**搬送時間はもちろんのこと走行時の安全性や快適性なども患者への負担や車内での応急処置に大きく影響します**。

新名神高速道路 城陽～八幡京田辺間が開通することで、京奈和道と第二京阪が直結し、搬送に活用できれば**搬送時間の短縮をはじめとして、救急活動に大きく貢献すると期待しています**。



出典：京奈道路沿線消防本部ヒアリング

【災害医療活動の迅速化や信頼性の向上】



※ 災害派遣医療チーム(DMAT)とは

医師・看護師・業務調整委員で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場で、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的訓練を受けた医療チーム

(Disaster Medical Assistance Team)

【参考】沿道状況の違い

第二京阪道路(片側3車線・規制速度80km/h)



府道69号(片側1車線・規制速度40km/h)

